

平成30年度「産油国等連携強化促進事業費補助金

（石油天然ガス権益・安定供給の確保に向けた資源国との関係強化支援事業のうち
中東等産油・産ガス国投資等促進事業（ロシア等産油・産ガス国投資等促進事業））」

（1）戦略的投資環境調査・情報提供事業

現地調査「カスピ海の法的地位に関する協定締結の地域開発に与える影響と展望」 実施報告書

2019年3月
（一社）ロシアNIS貿易会

1. 事業及び調査目的

近年の石油国際情勢の変動により、日本への原油の安定的供給が重要な課題となっているところ、エネルギー安全保障の観点から中東産油国のみならず、同様に豊富な炭化水素資源埋蔵量を持つロシア・中央アジア・コーカサス地域諸国（以下ロシア等産油国）との連携強化が極めて重要な課題となっている。本事業では、同地域との投資促進等を通じた関係強化の推進を目的とし、ロシア等産油国に関わるエネルギー関連産業調査、また石油精製・加工あるいは石油関連の省エネルギー・環境技術等の提供・交流を行うことにより、有数のエネルギー資源国である同地域との関係を発展させ、日本企業の産業活動に必要不可欠であるエネルギーの安定供給の確保を目指す。

その一環である戦略的投資環境調査・情報提供事業の、本年度の中央アジア・コーカサス地域における目的は、2018年8月に調印された「カスピ海の法的地位に関する協定」の石油・ガス分野を含めたカスピ海地域開発への影響について調査し、同地域への日本企業の進出ならびに日本政府による協力政策策定の参考に資することである。海底の石油・ガス鉱床開発や海底パイプライン建設、船舶航行・運輸、港湾ならびに沿岸都市整備、漁業、環境保全等、カスピ海の法的地位の確定が沿岸諸国の経済に及ぼす影響と期待される効果について、包括的な情報収集・分析を行った。

2. 調査項目

1992年のソ連解体によってカスピ海の沿岸諸国はソ連・イランの2か国からロシア・カザフスタン・トルクメニスタン・アゼルバイジャン・イランの5か国に増え、海上・海中・海底の所有と利用に関わる権利をめぐる対立が生じた。最大の争点となったのはソ連・イランの間に何ら法的合意が存在しなかった海底に眠る炭化水素資源の所有権で、当初はロシアとイランが「湖であるカスピ海は領海分割になじまない」として沿岸諸国による共同管理を主張、各国の「領海」に基づく開発を主張するその他3国と激しく対立した。しかし問題を棚上げした状態で、欧米メジャーを中心とする外資の手によりアゼルバイジャンおよびカザフスタン沖での鉱床開発は進み、さらに1998年、ロシアが方向を転じ、カザフスタンとの間で海底の境界線を画定したことから、海底については「領海分割」される方向性が事実上、決定的となった。

その後、2003年にロシア・カザフスタン・アゼルバイジャン3国により北部海底の境界が確定される一方、同年に沿岸5か国による初めての合意文書として「カスピ海のエコロジーに関する枠組み協定」が調印された。しかし、首脳会議を含む協議が定期的に行われていたにもかかわらず、カスピ海の法的地位に関する5か国の包括的合意は成立しないまま、四半世紀以上が経過しようとしていたところである。

本調査では、上記のようなカスピ海の法的地位問題のこれまでの経緯を整理し、2018年8月、ついに協定調印に至った背景、また一部項目が留保されていると伝えられる協定の内容について情報を収集・分析した。さらに、カザフスタン、アゼルバイジャン、トルクメニスタンについて、この協定が各国の石油・ガス産業とカスピ海沿岸地域開発に与える影響について調査した。

3. 派遣日程

【第1回】

派遣期間：平成31年1月29日（火）～2月7日（木）、10日間

派遣地域：トルクニスタン アシガバード市
アゼルバイジャン共和国 バクー市
カザフスタン共和国 アクタウ市、アスタナ市

出張者：輪島 実樹（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 研究交流部長
森 彩実 同 研究員
稲本智佳子 日露通訳

【第2回】

派遣期間：平成31年3月3日（日）～3月7日（木）

派遣地域：カザフスタン共和国 アスタナ市

出張者：輪島 実樹（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 研究交流部長

【第1回】

	日付	時刻	日程	宿泊地
1	1/29 (火)	13:10 17:35	成田 (SU261) : 森・稲本 モスクワ (SV0) 着	モスクワ
2	1/30 (水)	15:30 18:40 21:40	※輪島、他事業より合流 モスクワ (VK0) 発 (TK418) : 輪島・森・稲本[以下、同] イスタンブール着 イスタンブール発 (TK322)	機中/ アシガバード
3	1/31 (木)	03:15 10:30-11:30 12:00-13:00 15:00-16:00 16:10-17:30 19:00	アシガバード着 ◆トルクメニスタン外務省 Bayram KLYCHIMAMMEDOV、アジア太平洋局長 ベルディエフ国際条約・法規局参事官 ◆在トルクメニスタン日本大使館 近藤次席、岡垣一等書記官 ◆トルクメニスタン財務・経済省 アタエフ経済分野発展・金融局次長 アタバエフ運輸・通信・消費者インフラ融資分析部長 ハルナザロヴァ戦略的・持続可能発展局戦略予測・分析部 首席専門官 ネペソヴァ国際部首席専門官 ◆トルクメンガス・トルクメンゲオロギヤ レジェポフ・トルクメンガス対外経済関係・投資部長 ホルムラドフ石油ガス精製部長 イスケノフ・トルクメンゲオロギヤ副所長 ムルアルディエフ・トルクメンゲオロギヤ物理探査員 ネディレフ・トルクメンゲオロギヤ石油・ガス部長 ハディロフ・トルクメンゲオロギヤ国際関係・製品販売部長 大使公邸夕食会	アシガバード



トルクメンバシ国際港

4	2/1 (金)	08 : 30 09 : 30	アシガバード発 (T5 241) トルクメンバシ着	機中/バクー
		10 : 30-11 : 30	◆トルクメンバシ国家海洋・河川運輸庁 Amanmyrat GURDOV、 会長/造船・修理工場「バルカン」副工場長 Dzhumagul SARAMAMEDOVA、 貨物部副部長 Ogupsala KADYROVA、 マーケティング部主任専門家 Aigul MEZIROVA、 経済部主任専門家 Guvanch CHENDIROV、 マーケティング部主任専門家 (面談後視察対応) Batram ORUNOV、 技術部副部長 Garabegov SHATLYK、 公務担当 Emerzhan TOSUNYYAZOVA、 マーケティング担当	
		13 : 00-14 : 00	◆アヴァザ経済特区ヒヤキムリク Cheshber MUKHAMMEDOV、 副ヒヤキム Samed NURGELDIYEV、 副ヒヤキム事務担当ほか 1名	
		15 : 00-18 : 00	◆アヴァザ経済特区視察 Samed NURGELDIYEV、 副ヒヤキム事務担当	
		20 : 10 21 : 10	トルクメンバシ発 (T5 248) アシガバード着	
5	2/2 (土)	03 : 20 03 : 55	アシガバード発 (LH613) バクー着	バクー
6	2/3 (日)		◆アゼルバイジャン南部海岸地方視察、至アスタラ	バクー
7	2/4 (月)	10 : 00-11 : 00	◆Profile Analytical Unit Azad ZEYNALOV、 代表 Aliaga MAMEDLI、 経済専門家	機中/ アクタウ
		11 : 30-13 : 00	◆アゼルバイジャン外務省 Karman SEYFULLAYEV、 国際法・条約部アタッシュェ Rovshan MIRZAYEV、 二国間経済協力部ディレクター Farid MAMMADOV、 経済協力・発展部三等書記官	
		14 : 30-15 : 30	◆経済省付属経済改革・コミュニケーション分析センター ZaurGARDASHOV、 ポータルマネージャー Aytan MAMMADOVA、 国際関係マネージャー	
		16 : 00-17 : 30	◆Turan News Agency Mehman ALIYEV、 社長	
8	2/5 (火)	00 : 20 02 : 10	バクー発 (J2 6850) アクタウ着	アクタウ
		11 : 00	マンギスタウ州行政府 : Nurdaulet Kilybai副知事	
		14 : 00-16 : 00 18 : 30	アクタウ経済特区視察 マンギスタウ州知事表敬	
9	2/6 (水)	05 : 25 06 : 20	アクタウ発 (SU1955) モスクワ (SV0) 着	機中泊
		19 : 55	モスクワ (SV0) 発 (SU264)	
10	2/7 (木)	11 : 40	成田着	

【第2回】

	日付	時刻	日程		宿泊地
1	3/3 (日)	13:20 17:35	成田発 (SU261) : 輪島 モスクワ (SVO) 着		モスクワ
2	3/4 (月)	10:45	※藤川通訳、合流 ◆カーネギー・モスクワセンター A. GABUEEV主任研究員		機中/ アスタナ
		14:00	◆ロシア外務省外交アカデミーCISセンター S. ZHILITSOVセンター長		
3	3/5 (火)	22:20	モスクワ (SVO) 発 (KC874) : 輪島、藤川		アスタナ
		04:55	アスタナ着		
		13:00	笠井大使、大川参事官、石引書記官との昼食会		
4	3/6 (水)	14:30	◆大統領付属戦略研究所 (KISI) Sanat KUSHKUMBAYEB, 副所長		アスタナ
		16:30	◆外務省アジア・アフリカ局 Maxat SALIYEV東アジア部長 Zhandos ZHARMUKHAMETOVアタッシュェ		
		09:45 11:25 14:00	※藤川、離団 アスタナ発 (KC672) : 輪島 アルマトイ着 ◆Risks Assessment Group Dossym SATPAYEV代表	07:25 08:10	
5	3/7 (木)	01:20 10:00 15:45 17:55	アルマトイ発 (KC909) ソウル (ICN) 着 ソウル (ICN) 発 (OZ106) 成田着		

※面談概要については、平成30年度ロシアNIS貿易会特別報告書『カスピ海の法的地位に関する協定締結の地域開発に与える影響と展望』を参照のこと。



トルクメンバシ市内



アヴァザ観光特区ホテル



アヴァザ観光特区プール



アスタラ視察



アクタウ経済特区



アクタウ経済特区

以上